



令和3年9月台風14号による吉野川の出水状況

～早明浦ダムは、事前に確保していた空き容量に洪水を貯留することで
下流における水位上昇を大きく抑制しました～

- 令和3年9月台風14号における9月16日13時から9月19日14時までの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で195.6mm、吉野川上流域（池田ダム上流域）で144.8mmを記録しました。
- 早明浦ダムでは、制限水位（329.5m）より低い水位（324.43m）で洪水を待ち受けることで、通常よりも1.34倍大きい空き容量で洪水調節を実施し下流に流す水の量を毎秒1,550立方メートル抑えました。
- 早明浦ダム下流の本山橋（本山町）地点で本来8.21mまで上昇する水位を5.44mに抑えた（**約2.77m低下**）と推定され、水防団待機水位（8.00m）超過を防ぎました。



ダムによる洪水調節
→ 下流域の洪水被害の軽減



多数の関係機関と連携
→ 効果的な洪水対応



リアルタイムな雨量やダム情報を提供
→ 洪水被害の軽減



※本資料における数値は現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

令和3年9月22日

問い合わせ先

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

TEL 0883-72-3000(代表)

ダム統合管理担当: 副所長 片井 良英(内線204)

○管理課長 石川 洋 (内線331)

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

TEL 0883-72-2050(代表)

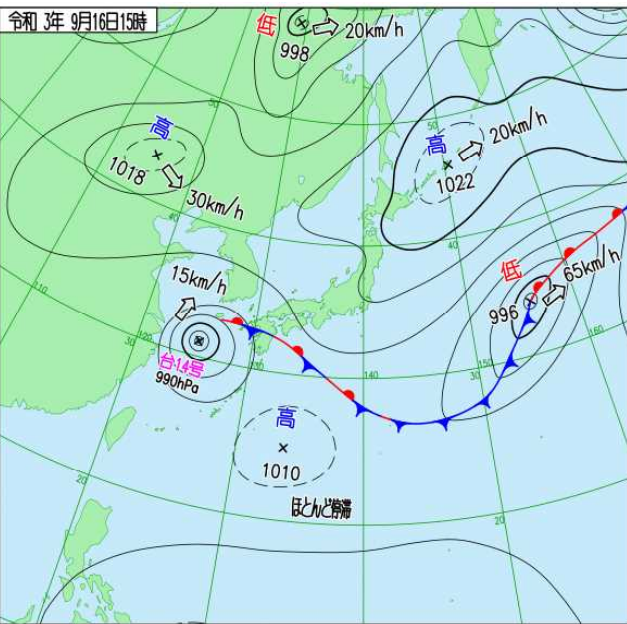
ダム操作担当: ○第一管理課長 竹内 宏隆 (内線331)

○: 主たる問い合わせ先

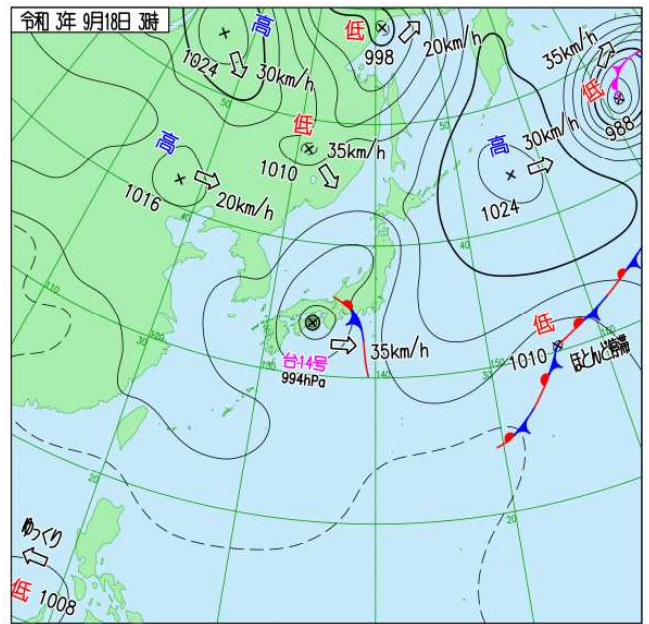
気象概況 ～令和3年9月 台風14号による大雨の状況～

○台風14号は大型で勢力を保ったまま四国を縦断し、各地で暴風をともなう大雨となりました。

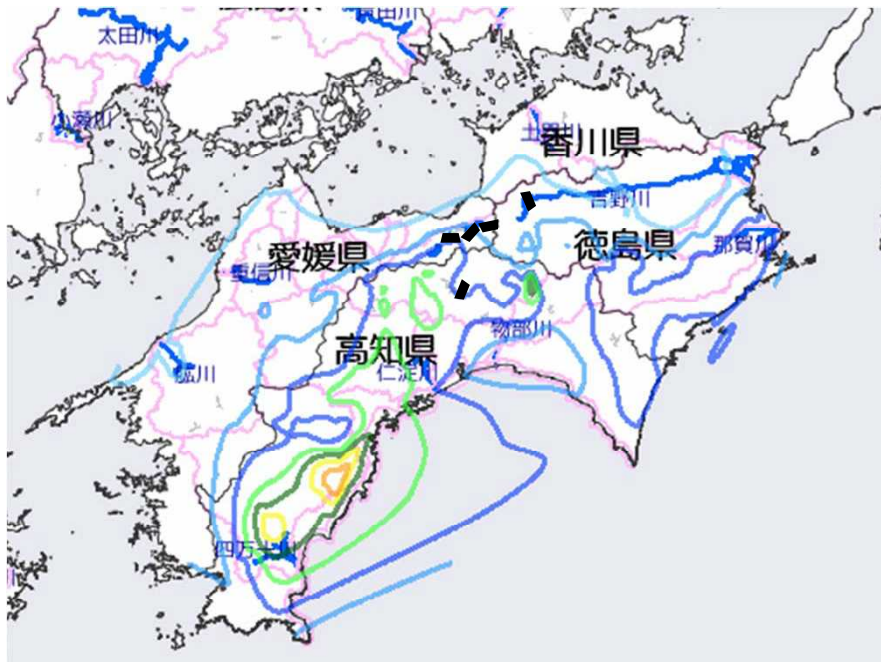
○この影響により、9月16日13時から9月18日14時までの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で195.6mm、吉野川上流域(池田ダム上流域)で144.8mmを記録しました。



9月16日15時 天気図(気象庁HPより)



9月18日3時 天気図(気象庁HPより)



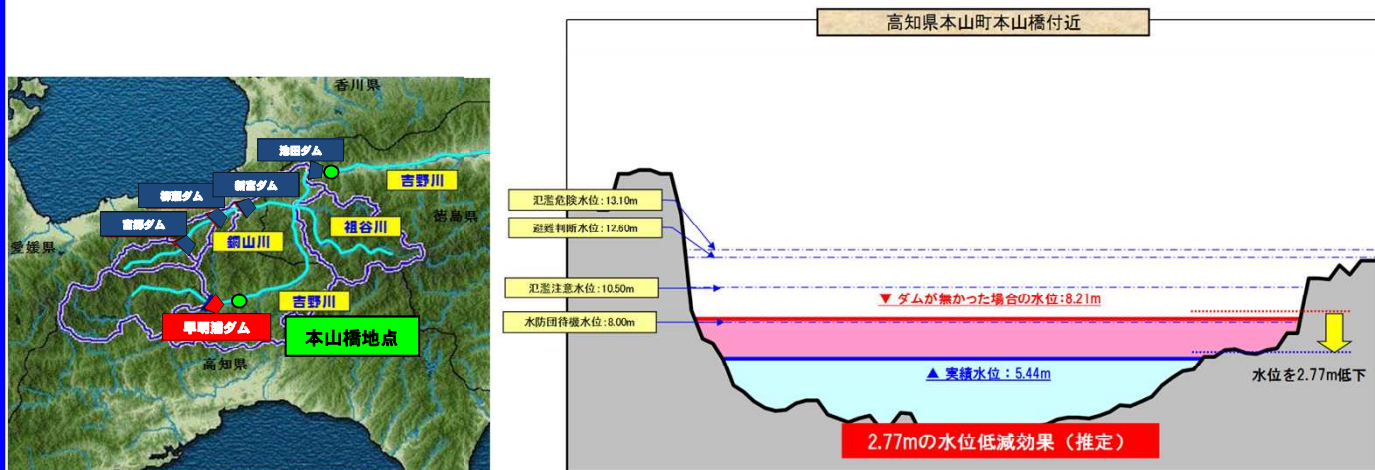
9月16日0時～9月19日0時の累計雨量分布

さめうら 早明浦ダムの洪水貯留効果

○今回の台風14号に対して、早明浦ダムでは**最大流入量毎秒1,612立方メートル**の洪水に対して、下流に流す水の量を**毎秒1,550立方メートル抑えること**で、ダム下流の本山橋地点で**約2.77m**の水位を低下させたと推定されます。

○上記操作により、本山橋地点で水防団待機水位(8.00m)への移行を回避しました。

ダム最大流入時の洪水調節効果《本山橋付近（高知県本山町）》
※川幅約150mの河川に対し約2.77mの水位低減が図れた。



「ダムがなかった場合の水位(9/18 1:10時点)」および「実績水位(9/18 1:40時点)」の数値はそれぞれ今回の洪水での最高水位を記載しています。
 ※知冠危険水位：川の水があふれる恐れのある水位のこと。
 避難判断水位：避難判断の参考となる水位のこと。
 冠冠注意水位：水防団が出動して活動を行う目安となる水位のこと。
 水防団待機水位：水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位のこと。

総雨量 約195.6mm(9月16日13時～9月18日14時)

